

教科	技術・家庭科(家庭分野)	学年	2 学年
----	--------------	----	------

教科書	開隆堂 技術・家庭 家庭分野
-----	----------------

年間指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験や実習を通して、創造し、工夫する能力を養う。 ・ 計画的に、根気強く、取り組む姿勢を育てる。 ・ 生活へ関連づけた知識・技能を養う。

学期	単元	内 容	目 標 ・ 留 意 点
1 学 期	B 食生活 1. 日常食の調理 B 衣生活 1. 目的に応じた衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 3. 生活を豊かにするものの制作 4. 生活の課題と実践	①調理の計画 ②おいしさと調理 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ① まかせて衣服の手入れ ② 布の繊維に応じた手入れ ③ めざそう洗濯名人	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ○肉・魚・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、調理することができる。
2 学 期	B 住生活 1. 住まいのはたらきとこころよさ 2. 安全な住まいで安心な暮らし 3. 持続可能な住生活	①住まいのはたらき ②住まいの空間 ①家庭内事故への備え ②災害への備え	○住まいの基本的な役割と空間の使い方について理解する。 ○家庭内の事故の種類と、その原因を知り、幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。
3 学 期	C 消費生活 1. 家庭生活と消費 2. 購入・支払いと生活情報 3. 消費者被害と消費者の自立 4. 持続可能な社会	①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入 ①なくなる消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③持続可能な生活の創造へ	○物資とサービスの特徴と消費生活のしくみがわかる。 ○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。 ○店舗販売と無店舗販売の特徴を知り、売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 ○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。 ○環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。 ○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。

主な 評価方法	知識・技能	定期テスト、作業の様子、作品の仕上がり
	思考・判断・表現	ワークシート、課題、創意工夫作品
	主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、課題
担当教諭からのアドバイス等		授業で学んだことを、実際に日常の家庭生活に役立てていくことで力が身につきます。自分の生活を振り返りながら、よりよい家庭生活を目指していきましょう。